

地球温暖化対策実施状況報告書

2019年 7月 26日

（報告先）
横浜市長

住所 横浜市鶴見区鶴見2-1-3 鶴見大学内

氏名 学校法人 総持学園
理事長 乙川暎元

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	学校法人 総持学園 理事長 乙川暎元				
事業者の主たる 事業所の所在地	横浜市鶴見区鶴見2-1-3 鶴見大学内				
主たる事業の業種	大分類	○ 教育、学習支援業			
	中分類	81 学校教育			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	2,869	kl	自動車の台数	台

2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016	年度～	2018	年度	実施年度	2018	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

- ・世界中での温暖化対策の意識の高まりを受け、本法人でも温室効果ガスの排出削減を重要な課題と捉え、教職員だけでなく学生及び患者と省エネルギーマニュアルを基に協力し、温室効果ガスの削減に向け積極的に行動していく。
- ・地球温暖化対策に関する取り組みを組織的に行い、継続的に対策を推進する。
- ・温室効果ガスの排出量を基準年度より3%削減する。（1年1%を目標とする）
- ・リサイクル品、グリーン購入法に適合した事務用品の選定及び購入。
- ・エネルギー消費の多い照明や空調機といった機器の更新の際には、特にエネルギーの削減率が大きい為、エネルギーの消費が少なく高効率のものを選定、導入する。
- ・平成23年度より、省エネルギーマニュアル及び節電行動計画を設定し、より温室効果ガスの削減に努める。
- ・高効率型の空調設備及び照明設備の更新。（計画中：5号館・図書館・大学会館・病院）（平成30年度以降更新予定）
- ・老朽化機器等の更新。
- ・5号館及び図書館への太陽光発電設備の設置を検討していたが、少量の発電量しか見込めず、平成29年度に中止となった。

4 推進体制

別紙参照

--	--	--

5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	法人財務部 管財課
	所在地	横浜市鶴見区鶴見2-1-3 鶴見大学内 2号館2階 管財課
	閲覧可能時間	8:50~16:50
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	4,824	t-CO ₂			基準原単位	46.57	t-CO ₂ /千m ²
	調整後	4,688	t-CO ₂			目標原単位	45.17	t-CO ₂ /千m ²
目標年度 (2018年度)	目標排出量	4,679	t-CO ₂	削減率	3.0 %	削減率	3.0 %	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・基準年度の1%の温室効果ガスの削減を目標とし、最終的には削減目標を基準年度の3%減とした。 併せて、目標原単位も3%減と設定した。 ・エネルギー消費の多い照明や空調といった機器の更新の際には、特にエネルギーの削減率が大きい為、エネルギーの消費が少なく高効率の物を選定、導入する。 							
事業者全体としての目標等	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃及び施設管理を委託している業者と協力し、効率的な設備運転を実施する。 ・設備の省エネ対策の徹底の為、定期的に管理標準の見直しを行う。 ・設備の運転状況を把握し、管理標準を基に効率のよい最適な運転を行う。 							
第一年度 (2016年度)	排出量	4,304	t-CO ₂	削減率	10.8 %	排出原単位	40.62	t-CO ₂ /千m ²
	調整後	4,288	t-CO ₂	削減率	8.5 %		削減率	12.8 %
目標等の達成状況及び説明	<ul style="list-style-type: none"> ・電力の自由化に伴い、平成27年度にCO₂排出係数の小さい業者に変更したことにより、平成28年度も全体的には大幅な削減につながった。しかしながら、エネルギー使用量は昨年度と比較すると増加している事業所もあるので、更なる削減を強化する。 ・6号館及び病院の照明の一部をLED化した。また、2号館・病院・保健センターの空調機の更新にあたっては、高効率型を導入した。 							
第二年度 (2017年度)	排出量	4,418	t-CO ₂	削減率	8.4 %	排出原単位	41.69	t-CO ₂ /千m ²
	調整後	4,400	t-CO ₂	削減率	6.1 %		削減率	10.5 %
目標等の達成状況及び説明	<ul style="list-style-type: none"> ・空調設備や照明を高効率型へと更新を進めるとともに、平成27年度にCO₂排出係数の小さい電力会社に変更したことにより、削減につながった。 							
第三年度 (2018年度)	排出量	4,437	t-CO ₂	削減率	8.0 %	排出原単位	41.83	t-CO ₂ /千m ²
	調整後	4,424	t-CO ₂	削減率	5.6 %		削減率	10.2 %
目標等の達成状況及び説明	<ul style="list-style-type: none"> ・照明設備の一部LED化や、空調設備の高効率型への更新を順次進めたことにより、CO₂排出の削減につながった。 							
計画期間全体の排出状況に関する説明	<ul style="list-style-type: none"> ・2015年度にCO₂排出係数の小さい電力会社に変更したことにより、2016年度は、大幅な削減となった。2017年度、2018年度は、空調設備や照明を高効率型へと更新を進めた。 							

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (年度)	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /
目標年度 (年度)	目標排出量		t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方								
事業者全体としての目標等								
第一年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第二年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第三年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)						
3,000k l 以上								
1,500k l 以上 3,000k l 未満	1	4,433	1	3,849	1	3,943	1	3,956
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満	2	391	2	455	2	475	2	481
合計	3	4,824	3	4,304	3	4,418	3	4,437

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)						
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度							
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施済	実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	非該当	/	—	年度	大学会館駐車場にファンがあるが、消防用のため	非該当	/	—	年度	大学会館駐車場にファンがあるが、消防用のため	非該当	/	—	年度	大学会館駐車場のファンは、消防用のため	
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	0/3	—	2018年度		実施中	0/3	—	2019年度		実施中	0/3	—	2020年度		順次高効率照明へ変更しているが、完了は2020年以降になる。
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		
	15	機器性能管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類)ボイラー-冷水温水器 9/9	—	年度		実施済	(設備の種類)ボイラー-冷水温水器 9/9	—	年度		実施済	(設備の種類)ボイラー-冷水温水器 9/9	—	年度		
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類)ボイラー-冷水温水器 7/7	—	年度		実施済	(設備の種類)ボイラー-冷水温水器 7/7	—	年度		実施済	(設備の種類)ボイラー-冷水温水器 7/7	—	年度		
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類)ボイラー 2/2	—	年度		実施済	(設備の種類)ボイラー 2/2	—	年度		実施済	(設備の種類)ボイラー 2/2	—	年度		
	18	排出ガス温度の管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類)ボイラー 2/2	—	年度		実施済	(設備の種類)ボイラー 2/2	—	年度		実施済	(設備の種類)ボイラー 2/2	—	年度		
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	実施済	実施済	(設備の種類)ボイラー-ボイラー 20/20	—	年度		実施済	(設備の種類)ボイラー-ボイラー 20/20	—	年度		実施済	(設備の種類)ボイラー-ボイラー 20/20	—	年度		
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類)/	—	年度	工業炉はないため	非該当	(設備の種類)/	—	年度	工業炉はないため	非該当	(設備の種類)/	—	年度	工業炉はないため	
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	実施済	実施済	(設備の種類)コンプレッサ 4/4	—	年度		実施済	(設備の種類)コンプレッサ 4/4	—	年度		実施済	(設備の種類)コンプレッサ 4/4	—	年度		
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類)コンプレッサ 4/4	—	年度		実施済	(設備の種類)コンプレッサ 4/4	—	年度		実施済	(設備の種類)コンプレッサ 4/4	—	年度		

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度							
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度		
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度		
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	太陽光発電設備	2013年度	10Kwシステム×2 (3・4号館)	年間発電量 22,333Kwh (2018年度実績)
2	太陽光発電設備	2013年度	5Kwシステム (幼稚園)	年間発電量 6,304Kwh (2018年度実績)
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内法人全体	8	東京電力エナジーパートナー(株)・昭和シェル石油(株)・(株)エネット
2	再エネの利用	2018年度	横浜市内事業者から排出される一部	5	太陽光発電(3・4号館・幼稚園)全て自家消費
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の排出量の把握及び削減目標の設定（前年度比5%） ・クールビズの拡大実施 ・節電行動計画及び省エネルギーマニュアルの設定 ・電力の自由化に伴い、CO2排出係数の小さい業者に変更
計画期間内に実施する対策	<ul style="list-style-type: none"> ・クールビズの拡大実施
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・クールビズの拡大実施（5月1日から10月31日まで）
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・クールビズの拡大実施（5月1日から10月31日まで）
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・クールビズの拡大実施（5月1日から10月31日まで）

14 実施状況等に対する自己評価

<ul style="list-style-type: none"> ・2号館実習室の空調機と照明を高効率型へ更新した。 ・6号館・病院の一部照明をLED照明へ更新した。 ・病院のボイラー・手術室系統の冷水チラー・病棟の吸収式冷凍機を高効率型へ更新した。 <p>以上のように照明・空調機、ボイラーについては高効率型設備へ順次変更してきたが、夏季の熱中症対策のための空調用電力需要増もあって、初年度以降大きな削減効果は得られなかった。引き続き照明・空調機の高効率型設備への更新を進めるとともに、省エネルギーマニュアルの再徹底を図り、温室効果ガス削減に努めていきたい。</p>

学校法人総持学園 地球温暖化対策推進体制図

2019/7/7

